



2019年5月1日発行  
1916年5月1日創刊  
発行 / 小川 健一郎  
編集 / 大阪 YMCA 広報室  
〒550-0001  
大阪市西区土佐堀 1-5-6  
Tel 06-6441-0894  
Fax 06-6445-0297  
URL: <http://www.osakaymca.or.jp>

# YMCA 大阪青年

## 5

## 「ユースワークIN堺」によって創る 「ポジティブネット」のある社会



大阪YMCA  
公益協働事業  
グループ長  
すが ひであき  
菅 秀晃



「互いを認め合い、高め合う『ポジティブネット』のある豊かな社会を創る。」

大阪YMCAでは、このビジョンの実現のために地域の人々と共に課題について考え、その解決のために活動し、共に歩む若者の成長と広く地域コミュニティを育むことを目指して全力で取り組んでいます。具体的な取り組みの一つが「ユースワークIN堺」です。

この取り組みは、これまで大阪YMCAが堺地域でさまざまな形で展開してきた活動を土台に、コミュニティをより活性化するために始まりました。堺に住む若者たちがYMCAと共に地域の課題について考え、その解決のために活動し、その一連の過程を通して地域を活性化しようとするものです。その指針は、次の2つです。

### 1. 地域の課題を自分たちの課題として取り組む

若者が地域の課題を自分たちの課題として捉え、その解決のために自ら考え、行動を起こしていく活動とすること。

### 2. 若者のコミュニティの場を創出する

若者が興味、関心を持って取り組める課題を抽出し、その解決のために活動する仲間を募

り、共に行動しながら地域の交流を盛り上げ、新しいコミュニティを創出する。

上記の指針に沿った取り組みにするため、人的ファシリテートの体制を大切に考え、整えています。YMCAスタッフと地域の大学研究者でアドバイザーコミッティーを構成し、児童福祉、シチズンシップ、ユースワークなど専門的な視点から活動へのアドバイスを行っています。また、若者だけで構成されたワーキンググループをつくり、具体的な地域課題の解決に向けてプログラムを準備しています。

2018年度は、ワーキンググループを構成する過程で地域の若者も参加する勉強会を数回開催しました。その中で、地域課題解決のためには、解決したいという思いや地域課題のための一般的な方策による行動だけではなく、すでに私たちが持ち合わせている「強さ」を掛け合わせることで、より効果的な課題の解決が導かれることを学びました。自分自身の「強さ」というのは、例えば、地域の居場所、町内会等のネットワーク、行政との連携、メンバー個人の人とのつながり、そして、つながった個々人のさまざまな能力などです。問題解決のためには、そのようにみんな

が自分自身の力を持ち寄ることが大切です。

自分にとって住みやすい地域にしていくためには、日常生活で出会う不便さ、困難さを解決する責任を他の誰かに転嫁するのではなく、若者がその課題を自分ごととして捉え、自分たちの「強さ」を知った上で、仲間と共に課題に取り組める仕組みをつくる必要があります。「ユースワークIN堺」がそのような取り組みに成長していくことを願っています。

現代の社会は、グローバル市場社会による経済競争の激化、そこから来る経済格差による貧困、都市化による地域社会の衰退、それによる青少年のコミュニティ環境の減衰など複雑に相関する課題が社会に溢れています。YMCAの活動は、YMCA自体が直接的に課題を取り除くことのみを行うのではなく、その問題にある当事者に寄り添い、その人々に仕える働きです。今、それがどのように実現できるのかが問われています。そのYMCAの源泉から長きに渡り発展させてきたYMCAの働き、歩みを振り返りながら、新しい「地域コミュニティの創造」、新しい「青少年活動」である「ユースワークIN堺」を通して、「ポジティブネット」のある豊かな社会を目指します。

### ■大阪YMCAの使命

大阪YMCAは、聖書に示されたイエス・キリストの愛と奉仕の生き方に学び、YMCAの世界的な運動に連なり、希望を持って、共に生きる社会の実現をめざします。

- ボランティア精神をはぐくみ、互いに協力し、明るくあたたかい地域社会の形成に努めます。
- すべての世代の人びとが、出会いと生きがいを見いだすための、生涯にわたる気づきと学びの活動を展開します。

- 未来を築く力強い子どもたちを、家庭・地域社会と共に育てます。
- 生命を尊重する心を養い、自然と人間が調和する働きをすすめます。
- 世界の人びとと力を合わせ、環境、人権、貧困の課題に取り組み平和で公正な世界をめざします。

# 約束から実行へ ブランディングは終わらない。



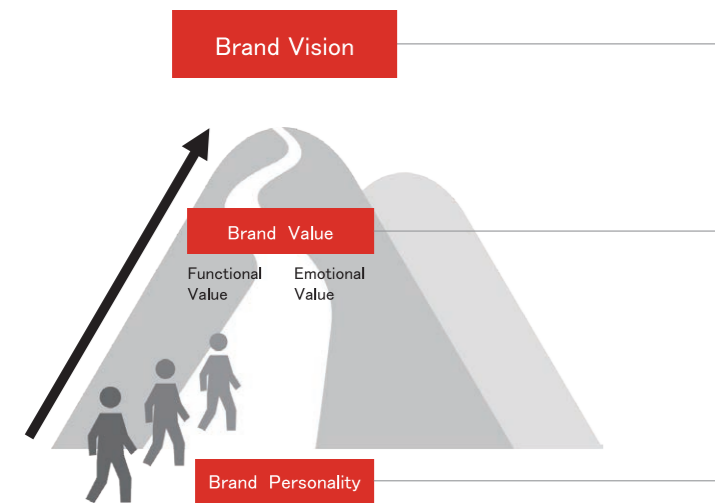
全国YMCAの新ブランド公開から1年が経ち、刷新されたブランドロゴなど視覚的表現も浸透しつつあります。今後のブランディング推進のポイントについて、YMCAブランディングの制作・コンサルティングパートナーであるグラムコ株式会社の下間彩子さんに寄稿いただきました。



グラムコ株式会社  
執行役員・コンサルティングディレクター  
しもつま あやこ  
下間 彩子

2016年、YMCAは、オールジャパンYMCAとして「私たちは何者か」を、顧客目線に立って、分かりやすく伝えるための「ブランドコンセプト」を定義しました。2017年には、新たにブランドスローガン、ブランドロゴを制定し、YMCAらしさを魅力的に伝えるためのさまざまなチャレンジが、全国のYMCAで行われてきました。これらの取り組みはすべて、YMCAの価値を内外に明確に伝えていくための「ブランディング」であることは、すでに多くの方に知っていただき、理解していただいていることと思います。しかしながら、ブランディングは見た目を変えたり、揃えたりすることに留まりません。

ブランドコンセプトは、YMCAの社会に対する約束です。社会に対して約束を掲げることは、YMCAが「何を指すどんな存在なのか」を伝えるためにとても有効ですが、これからのYMCAにとっては、その約束を確実に実行していくことがより重要になってきます。なぜならば、約束が実行されてはじめて、社会からの共感が得られるからです。



大阪YMCAが堺市と取り組む「ユースワークIN堺」は、地域の若者を巻き込みながら、ブランドコンセプトにある「みつかる。つながる。よくなる。」「互いを認め合い、高め合う『ポジティブネット』のある豊かな社会を創る」を、まさに実行していく取り組みだと言えるのではないのでしょうか。こうした約束の実行となる一つひとつの活動が、ブランドコンセプトを単なる約束に終わらず、実体化し、YMCAのブランディングをより真実にしていくはず。

そして、幅広いさまざまな事業や活動を展開し、これまでにない新しい取り組みにも積極的にチャレンジする大阪YMCAだからこそ、約束の実行には、ブランドコンセプトに基づく一貫性が不可欠です。ブレない考えや価値提供が、より一層の共感と期待につながっていくでしょう。

ブランディングに終わりはありません。約束から実行へ。YMCAのブランディングがさらに進んでいくことを期待しています。

## ブランドビジョン

YMCAが実現したい世の中の姿

互いを認め合い、高め合う  
「ポジティブネット」のある豊かな社会を創る。

## ブランドバリュー

YMCAがビジョン実現に向けてステークホルダーに提供を約束する価値

したい何かが見つかり、誰かとつながる。  
私よくなる、かけがえのない場所。

みつかる つながる よくなる

## ブランドパーソナリティ

上記を約束するブランドとして備えているべき個性、らしさ

心をひらき、わかち合う。  
前向きで、まわりを惹きつける魅力を持つ。

# 大阪市立水都国際中学校・高等学校 入学式挙行



4月7日(日)、大阪市住之江区の相愛大学南港キャンパスのホールにて大阪市立水都国際中学校、大阪市立水都国際高等学校、各1期生80名、合計160名の入学式を執り行いました。

佐藤裕幸校長からの式辞では、充実した学校生活を送り、「思考スキル」「コミュニケーションスキル」「社会性スキル」「自己管理スキル」「リサーチスキル」を身につけ、地域に貢献し、グローバル社会で活躍できる人になってほしいというメッセージが贈られました。

生徒代表が、日本語と英語で決意を述べました(下記、一部抜粋)。「私たちは、この学校で世界の共通語である英語を学び、日本文化の紹介や日本と世界の幸せのために貢献できる力を身につけることを目標に学習していきます。」

"We will study English, the common global language, with the

aims of sharing Japanese culture with others; to acquire the ability to contribute to the happiness of Japan and the world."

またマスコミ社が取材に訪れ、当日のNHKニュースでも入学式の様子が放送されました。

NHK全国版



生徒の皆さんの学校生活が実りあるものになるように、しっかりと歩まれることを教職員一同願っています。



# 第1回YLab開催

ワイラポ



YMCA総合研究所 副所長 **重信 直人**

内閣府は、第5期科学技術基本計画において、これまでの狩猟社会(Society 1.0)、農耕社会(Society 2.0)、工業社会(Society 3.0)、情報社会(Society 4.0)に続く新たな社会を指すものとして、仮想空間と現実空間を高度に融合させたシステムにより経済発展と社会的課題の解決を両立する、人間中心の社会(Society 5.0)を提唱しています。そこでYLabでは、3月16日(土)に大阪YMCA会館にて、奈良先端科学技術大学院大学准教授の神原誠之さんと国立研究



開発法人情報通信研究機構脳機能解析研究室研究員の對馬淑亮さんを招き、「AIと人間とYMCA -Society5.0の社会で-」と題し、科学技術進展の現状と課題について語っていただきました。専門的な話の中にも以下のようなことが語られました。

- Society5.0の社会とは、誰もが快適で活力に満ちた質の高い生活を送ることのできる人間中心の社会である。
- 科学技術がどれだけ発展しても、それを扱うのは人間であり、無機質なものはならない。
- 幼少期からの野外活動体験を含むさまざまな体験によって、「SPIRIT」「MIND」「BODY」のバランスのとれた人づくりが重要となる。

YMCAの社会教育における働きはますます重要となり、その働きに期待しているとの話があり、それに応えられるような活動を展開していきたいと思います。

# ユースボランティアリーダー活動感謝会



ウェルネス事業部 南事業事業長 **小西 雄希**

3月21日(木・祝)、大阪YMCA会館のホールにてユースボランティアリーダー活動感謝会を行いました。2018年度、社会に旅立つユースボランティアリーダーは47名でした。

第一部礼拝では、日本基督教団浪花教会の山口恒牧師より「期待されていること」と題し奨励をいただき、第二部では小川健一郎総主事よりあたたかなメッセージと感謝の盾の授与がありました。また、式中にはレイパーソンの和田早苗さんによるピアノ伴奏もあり、関わる人

たちが一同に集い、互いに感謝する良き交わりの場となりました。心より感謝申し上げます。

会にはYMCAプログラムのメンバー、保護者、ワイズメン、理事の方々、リーダーOBOGと本当にたくさんの方々が集い、YMCAの「つながり」を実感することができました。ここから羽ばたくリーダーたちが、さまざまな社会の場面において「よくなる」を実現していくことを願っています。



# 不登校児童通所事業2拠点目「サテライト旭」スタート



2017年度にスタートしたサテライト平野に続き、大阪市こども相談センターより委託を受け、4月1日からサテライト旭にて不登校の子どもたちへの支援を開始しました。

YMCAが長く行ってきた青少年教育、特に不登校の子どもへの

支援を行っている実績を活かし、地域の子どもたちに寄り添い、適切な関わりを通して全人的な成長を促します。

所在地:大阪市旭区森小路2-5-29 旭総合福祉センター2階  
(最寄駅:大阪メトロ谷町線 千林大宮駅)



## 『水泳』を通して自己肯定感を育み、 心身の健康を整える。

たきなか しんすけ  
大阪YMCAアクアティック事業 事業長 瀧中 慎介

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて、『水泳』も盛り上がってきています。

そんな中、ある有名選手の病気の告白は世間に衝撃を与えましたが、競技を通じて培った精神力をもとに彼女から発信される言葉は、同じように闘病生活を送る人々を勇気づけています。逆に、競技を行う中で心の準備ができていないと、大会への出場を見合わせた選手もいました。いかに心身の健康が大切であるのか、ウェルネス事業を担う私たちに問いかけてられているように感じます。

心肺機能・基礎代謝向上など運動効果が高いといわれている『水泳』。心の健康には、どんな寄与ができるのでしょうか。私たちが行っているアクアティックプログラムでは、泳力認定はスキルが認定に到達したかどうかだけでなく、認定証にリーダーからアドバイスを記入することで、「できる」ようになったことを伝えたり、タイムレコードを蓄積していく、「成長」を感じることを大切に考えています。

今こうしている間にも、闘病生活を送っている選手を支えているものは、「自分ならできる」この強い信念ではないでしょうか。聖書には、「あなたがたを襲った試練で、人間として耐えられないようなものはなかったはずだ。神は真実な方です。あなたがたを耐えられないような試練に遭わせることはなさらず、試練と共に、それに耐えられるよう、逃れる道をも備えていてくださいます。」(コリントの信徒への手紙第1.10章13節)とあります。

私たちは、「やればできる」という自己肯定感を持つことができる『水泳』プログラムの特性を活かしつつ、心身のたくましい青年の育みを常に寄り添いながら目指していきます。



## 大阪YMCA創立記念礼拝のお知らせ

日時：2019年6月1日(土)午前10時～

場所：大阪YMCA会館

奨励：春名 康範 牧師(日本キリスト教団 天満教会)

## 大阪YMCA早天祈祷会

YMCAを愛する人びとによって共に祈る時(毎月第3金曜日予定)が持たれています。YMCAのさまざまな場で活動されている方々にお話をいただき、人生の歩みを分かちあう恵みの時としています。

■第313回 日 時...2019年5月17日(金) 7:30～8:30

証 し...たじり たたくに田尻 忠邦さん

(大阪YMCAグローバル事業推進室室長)

場 所...大阪YMCA会館 10階 チャペル

問合せ...大阪YMCA 統括本部 総務

TEL:06-6441-0894

E-mail:info@osakaymca.org

### 【奏楽ボランティア募集】

奏楽(オルガン演奏)をしていただけるボランティアを募集しています。詳しくは上記までお問い合わせください。

### お詫び

3月号2面「第6回全国海洋教育サミット参加報告」の記事で、かす がのぞみ春日夢さんのお名前のふりがなに誤りがありました。

ここに訂正するとともに、謹んでお詫び申し上げます。

### 会員・賛助会員としてのご協力に感謝申し上げます。

2019年3月度報告・敬称略

#### 【新規会員】

岩田 ゆり  
横田 司  
吉岡 祐理

#### 【継続会員】

足達 泰司  
有田 和子  
生雲 文枝  
池田 和弘  
池田 俊一郎  
石田 易司  
市田 恒夫  
伊藤 圭介  
乾 東雄  
井上 都志弘  
猪瀬 正雄  
今井 利子  
入江 保夫  
岩坂 正規  
岩坂 正雄  
植下 五郎  
上西 卓  
宇野 義男

尾形 丈二  
岡本 泰宏  
小川 道雄  
奥田 和弘  
尾和 信孝  
加計 純子  
鍛冶田 雅弘  
粕谷 和彦  
加藤 寅尾  
金岡 重雄  
川口 彰範  
川端 康彦  
川俣 茂  
國友 朝子  
栗田 達夫  
桑原 芽吹  
桑原 頼子  
小森 敬久  
阪口 温子  
阪本 聡子  
佐藤 祐規子  
小路 修  
申一 男  
末岡 成夫  
杉浦 真喜子

杉本 惠俊  
滝口 敏行  
武井 和子  
田中 八重子  
津野 忠昭  
富賀 理恵  
中芝 永次  
中村 隆幸  
野村 忠彦  
則武 秀尚  
長谷川 洋一  
廣田 康人  
福島 眞一  
福田 帆乃香  
藤井 英世  
藤井 弥生  
藤好 基子  
ハンジヤミンミツダ  
前出 孝子  
牧口 望  
松野 五郎  
三浦 明  
三浦 直之  
森 雅史  
森浦 隆之

#### 【継続賛助会員】

共栄社化学株式会社  
株式会社甲南保険センター  
有限会社  
サイテックエンタープライズ  
清風商事株式会社  
日東化成株式会社  
パナソニック株式会社

大阪YMCAのホームページで  
その他の情報をご覧いただけます。

